

～ドッターの職業病(?)について～

3T るきあ

1. はじめに

私は大学に入学してからドット絵を描き始めた。初めてのドット絵に四苦八苦しなから、ドットを打ち続けた。様々なゲームの画面を凝視、分解、抽出、書き出し等等・・・ドットと格闘を繰り返した。

ふとあるとき、普段作業しているノートパソコンのディスプレイのドットが気になるようになった。ここからである、職業病にかかりつつあると気づき始めたのは。この症状を果たして職業病と呼ぶのか、それとも私が異常なだけなのかを検証すべく、現象を書き出してみることにする。

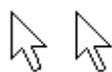
2. 症状

(1) ゲームプレイ中にて

DS やパソコンのゲームをプレイしている時、ゲーム内容よりドットに気をとられてしまう。荒くないか、色数はどうか、角度の表現等。さらにアニメーションのフレーム数まで数える始末である。純粋にゲームが楽しみにくくなってしまった。CG については、ドットで描けないかという考察をし始める。

(2) パソコン使用中にて

ディスプレイがドットの集合に見えることはもちろん、フォントは美しいと思い始めた。最近ではマウスポインタの1ドットのでっぱりが気になっている。改善できないかと思ったができなかった。



右がオリジナル。左が改善を試みたもの。どうみても劣化してます。

(3) 講義中にて

プレゼンでアニメーション画像を使用していると、ついフレーム数を数え始めてスケッチを取り始める。講義に集中できない。

(4) その他

- ・ 方眼紙があるといっドット絵を描いてしまう。
- ・ ドットという言葉に反応してしまう。
- ・ ドットに不可能はないと思いはめる。
- ・ ついでにテレビ画面も携帯画面のドットも気になる。
- ・ ドットを描くといっアニメーションさせたくなる。

3. おわりに

簡単に書き出してみた。結果、職業病と言うより単に私に変人なだけという結論に至りそうである。なんてこった。

近年技術が向上し、画質のよいゲームが増えてきた。3D や CG はよりいっそうリアルに。しかしドットを打っている身としては、ファミコンのゲームの方がすごい技術だと思っている。つまりは、ドット絵最高。・・・病気だなこれは。

以上です。お付き合いいただきありがとうございました。

中途半端に余ってしまったので、適当にドット絵を載せてみる。

